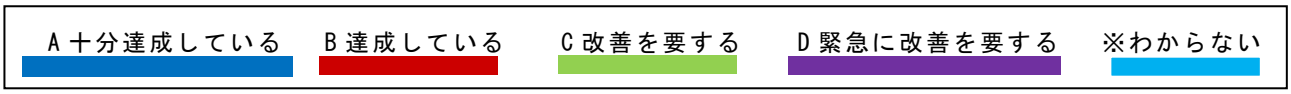
令和６年度　月島幼稚園　自己評価報告書

幼稚園名：中央区立月島幼稚園　　所在地：中央区月島１－９－７
園長名：太田　禎子
幼児数：６５名　　学級数：４学級
教員数：１１名（養護教諭・特別支援補佐員含む）　　職員数：２名

１　重点目標の達成状況及び取組状況

○アンケート実施状況
▸実施時期　１２月
▸教員４人中４人回答　回答率（９６％）保護者６５人中６３人回答

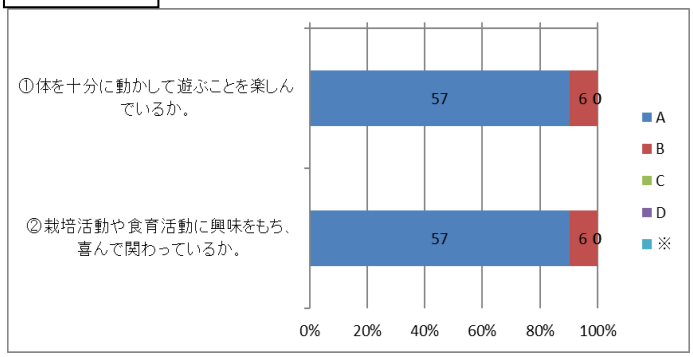


今年度設定した３つの重点目標において、９割以上の保護者から「達成されている」との回答を得た。今年度の教育活動について多くの保護者の方にご理解いただけたと考える。

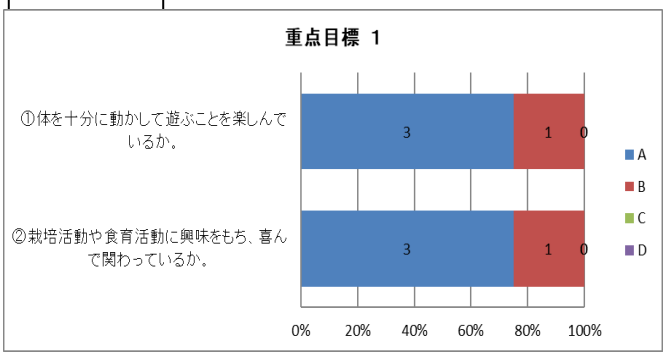
●重点目標１　幼児の健康な体づくりを推進する。

評価指標：①体を十分に動かして遊ぶことを楽しんでいるか。
②栽培活動や食育活動に興味をもち、喜んで関わっているか。

保護者



教　員



【重点目標１について】

○重点目標１は、「達成している」の合計が１００％と、とても高い評価であった。

・運動遊び推進園として、園庭や遊戯室を活用し、体を動かしたくなるような環境づくりや、リズム遊びや鬼遊びを学年の発達に応じて工夫しながら取り入れてきた。園庭開放や「親子で遊ぼう」の活動を通して、友達や親子で一緒に園庭で遊ぶ楽しさを味わうことができた。

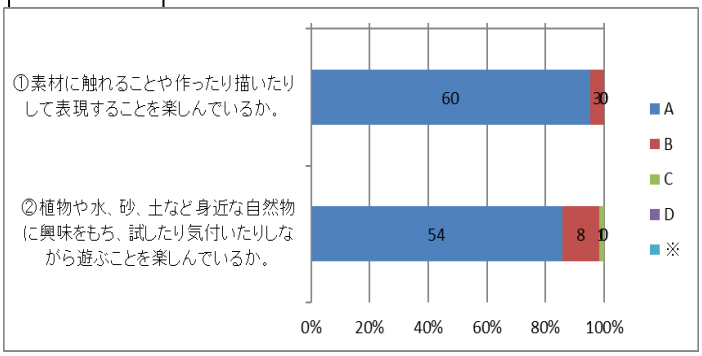
・栽培活動については、季節の野菜を栽培し、収穫して食べる体験を行ってきた。今年度より始まった弁当給食と併せて、いろいろな食材を食べてみようとする気持ちが出てきた幼児もいる。カレーパーティーやおいもパーティーでは、自分たちで収穫し、触れて、調理して味わうという経験もできた。中心となった年長児の姿が年中児につながり、３学期には、ニンジンやタマネギの苗を植え、来年の収穫に期待をもっている。

今後も、運動遊びや、独立園の環境を生かしての栽培活動、様々な方面からの食育活動を充実させていきたい。

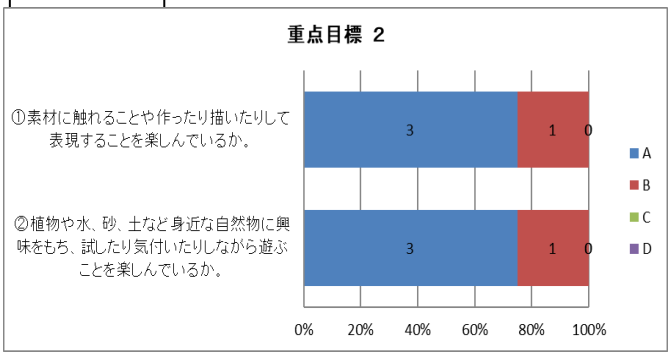
●重点目標２　幼児が主体的に関わり表現する楽しさを味わうことを通して豊かな心を育む。

評価指標：①素材に触れることや作ったり描いたりして表現することを楽しんでいるか。
②植物や水、砂、土など身近な自然物に興味をもち、試したり気付いたりしながら遊ぶことを楽しんでいるか。

保護者



教　員



【重点目標２について】

○評価指標①、②ともに、９８％の保護者が「達成している」と回答している。

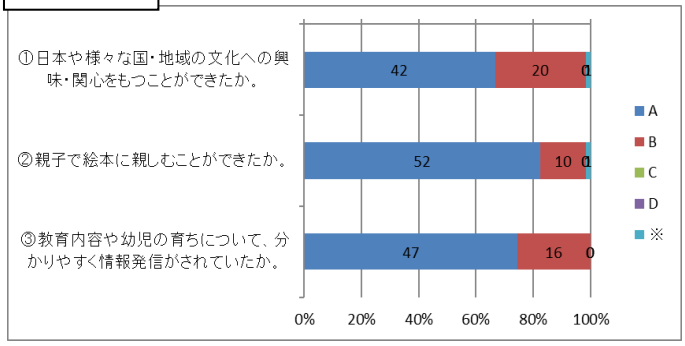
・評価指標①園で「工作活動が想像力や工夫する力が育まれる」「製作をする際に、様々な素材が常時置いてあることはありがたい」など、意見があった。
昨年度の「造形的な遊び」についての園内研究の成果を活かし、環境を工夫してきた。子どもたちの経験や育ちをつなげていくために、必要な経験や場や時間を確保していく大切さを感じている。

・評価指標②「伸び伸びと遊べる園庭や自然遊びが経験でき、子どもが毎日楽しく通っている」という意見があった。子どもたちは園庭にある植物、小さな虫や種、実、など様々なものに興味をもってかかわって遊んでいる。また、そこで気付いたことや感じたことに共感する教師や友達の存在も大きく、さらなる関心や遊びにつながっている。
来年度も、子どもたちが夢中になって遊び、その子らしく表現することを楽しめるような環境作りを行い、一人一人の表現を丁寧に受け止めていきたい。また、土や砂、水遊びを含め継続的に遊ぶことができる環境作りや活動を充実させていきたい。

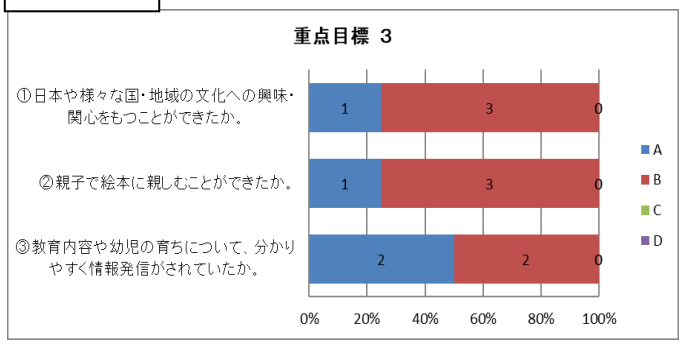
●重点目標３　家庭や地域と『月島幼稚園大好き！』の気持ちを共有する。

評価指標：①日本や様々な国・地域の文化への興味・関心をもつことができたか。
②親子で絵本に親しむことができたか。
③教育内容や幼児の育ちについて、分かりやすく情報発信がされていたか。

保護者



教　員



【重点目標３について】

・評価指標①オリンピック・パラリンピックの機会や、日本の季節行事や伝統文化に触れ、興味をもって関われるよう保育に取り入れてきた。もちつきや正月遊び開放など、保護者の方にボランティアを募ったり、親子で遊びを楽しめるように機会をつくったりした。保護者の方も一緒に、文化への興味・関心につなげることができたのではないか。
・評価指標②絵本の貸し出し、絵本の読み聞かせボランティアに協力を得て、絵本に親しめるようにしてきた。しかし、家庭での読む時間の確保や関心度に差を感じる。園では、魅力ある絵本の部屋づくりや絵本の紹介を通して、引き続き関心を高める工夫をしていく。

・評価指標③情報発信については、「ルクミー」を通して、園での子どもたちの様子が分かってよいという感想が多くあった。教員も子どもたちが楽しんでいる姿、経験していることを分かりやすく発信し、子どもたちの成長や教育内容がしっかりと伝わるよう努めている。一方で、教員の負担も大きいため、教員が保育の充実に向けての準備、研修にも十分に力を注げるようにしていきたい。効率的に、かつ分かりやすい発信となるよう、工夫していく。また、預かり保育を利用した方にも、連絡が伝わるよう、ルクミーを中心に、連絡手段の工夫をしていく。

２　重点目標以外の自己評価と保護者による全方位的な評価における達成状況及び達成のための取組状況

（１）　教員の自己評価　結果と分析

・概ね、達成していると回答している。
＜行事＞については、精選されていると思うが、幼児の生活が忙し過ぎないように、配慮していく。
＜教育課程の状況＞の「保幼小連携」の項目では、地域の小学校・保育園と継続的な交流について課題もあるが、３学期の小学校への凧揚げなど、今年度取り入れてよかった活動も挙がっている。保幼小連携日を通して、教育の接続についての理解も進んできている。さらに、計画的な交流活動や自然なふれあいがもてる散歩を行っていくとよいのではないか。
＜教育環境の整備＞については、絵本の部屋の魅力的な空間作りに努めたい。また、栽培物自然物の管理が不十分な面もあった。子どもたちに必要な経験が保障されるよう計画的な栽培活動、食育活動を実施していく。

（２）　保護者評価結果と分析

・全方位的な評価については、全ての項目において、９０％以上の保護者が、４・３（よくあてはまる・あてはまる）と回答している。
・特に、「幼児理解」・「環境整備」・「情報発信」の項目で、１００％が「よくあてはまる」「あてはまる」を回答している。幼稚園での活動を好意的に捉えている一方で、少数ではあるが、教員にもっと相談したい、PTA 活動に課題があるなどの声もあがっている。保護者の悩みや思いを受け止め、家庭の状況を配慮した丁寧な声掛けや共通理解を図っていきたい。

３　今後の方策

〇栽培活動・食育活動の充実を図る。
〇主体的・協同的な探究活動の推進に努める。
〇子育て支援の充実、情報発信の工夫に努める。